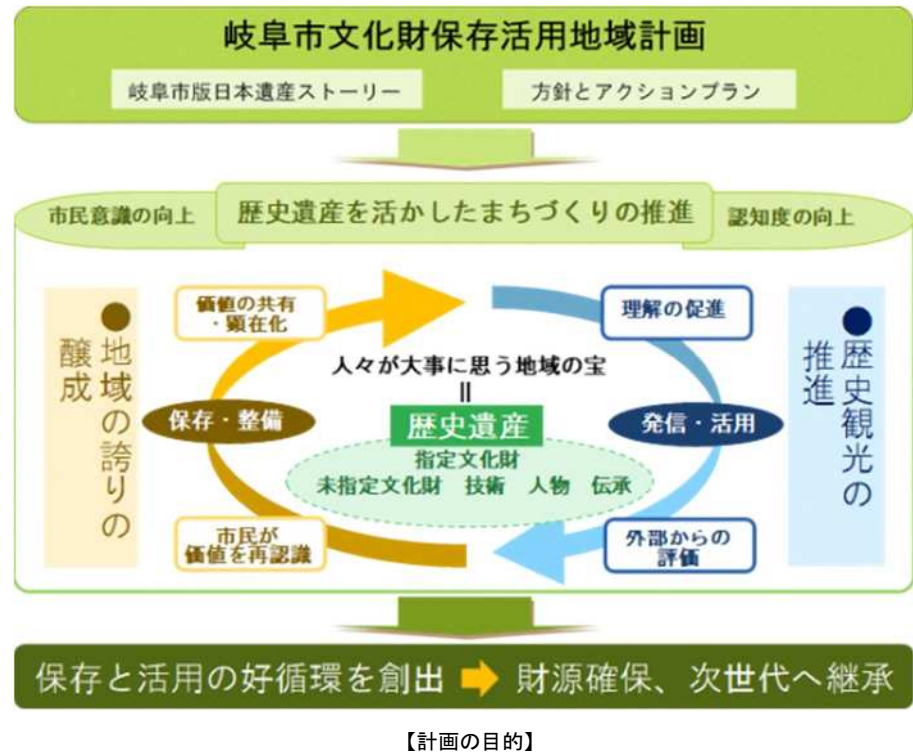


■計画の目的

岐阜市は戦国時代を通じて歴史の重要な舞台となり、全国に大きな影響を与えました。また中央部以外にも加納城跡や黒野城跡、中^{ちゅうじょうひめせいがん}将姫誓願ザクラ等の魅力のある文化財が数多く存在します。文化財保存活用地域計画は、この岐阜市全域の歴史や文化を保存・活用するための方針とアクションプランを示したものです。計画の推進を通じて、大切な歴史遺産を次の世代に継承していきます。



■保存・活用の将来像



市民一人ひとりが、地域の歴史を誇り、語れるまち
市民ぐるみで歴史遺産を守り伝えるまち
歴史観光に訪れたいくなる、魅力あふれるまち

■担い手の連携

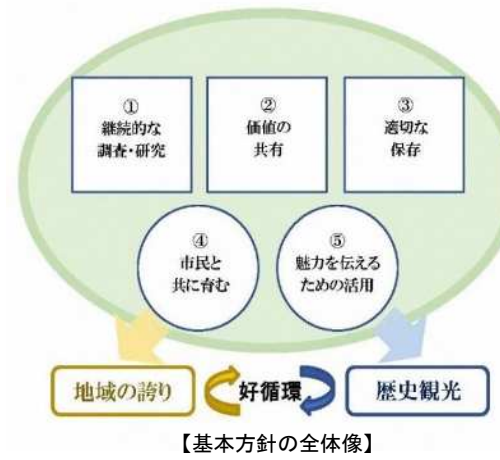
将来像の実現に向け、さまざまな立場の人たちが連携して取り組むことが求められます。



■アクションプランと計画期間

5つの基本方針に基づき実施する約100の事業と、中核となる文化財の保存・活用に取り組む3つの重点事業を推進していきます。

全体計画は10年、アクションプランの事業計画は5年ごとに見直していきます。



★重点事業

重点事業1：史跡岐阜城跡の保存・活用

発掘調査等による全容解明や史跡整備を推進するとともに、各種イベントや情報発信を実施。調査の過程も見ていただくことで、本物志向の観光まちづくりに取り組んでいきます。



重点事業2：長良川鵜飼文化の保存・活用

多角的な総合調査により鵜飼の価値を明らかにするとともに、魅力発信や保存・継承にオール岐阜で取り組んでいくことで、かけがえのない鵜飼を未来へと確実につないでいきます。



重点事業3：長良川流域の文化的景観の保存・活用

調査・研究やパンフレットの配布、イベント開催による価値の共有のほか、必要な整備に取り組み、景観の向上と継承を推進します。



計画書本編は岐阜市ホームページでご覧になれます。

岐阜市 文化財保存活用 検索



問い合わせ先：岐阜市 ぎふ魅力づくり推進部 文化財保護課

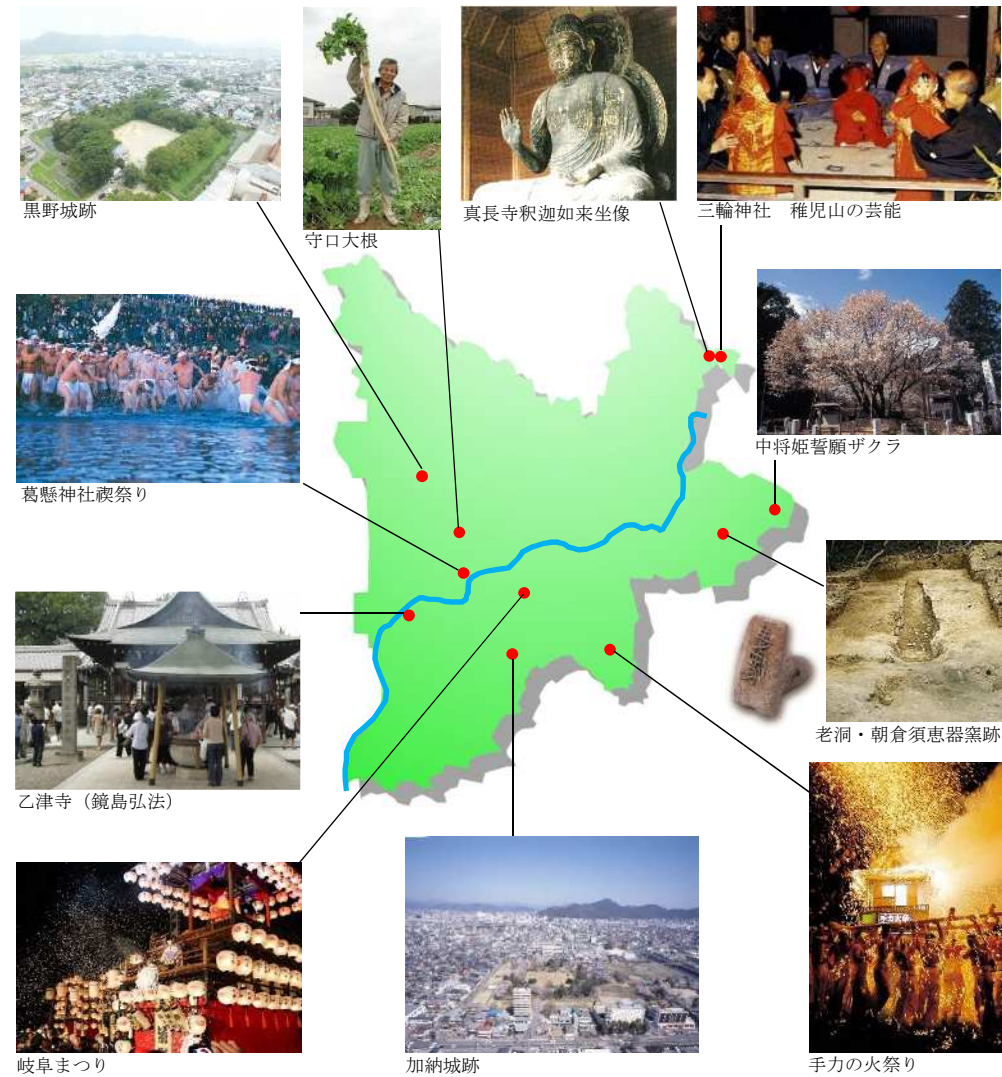
岐阜市神田町 1-11 TEL058-214-2365

令和2年7月

歴史遺産を活かしたぎふ魅力づくり

岐阜市文化財保存活用地域計画

概要版



ぎふ歴史遺産【岐阜を舞台とした戦国時代のドラマ】

1. 国盗りの時代のまちづくり —土岐氏から斎藤道三へ—

斎藤道三は、水運・陸運の結節点に**稲葉山城**と**井口城下町**を築きました。現在の**まちなみ**の**礎**を造った道三ですが、そのノウハウは**土岐氏から学んだ**部分も多くあります。



斎藤道三像（常在寺本模写）
（東京大学史料編纂所蔵）

土岐氏と道三のまちづくりは織田信長、そして明智光秀や豊臣秀吉にも影響を与えたことでしょう。そしてそれは**全国の近世城下町**に繋がっていったのです。



稲葉山城（国史跡岐阜城跡）と城下町
1539年頃、道三が本格的な山城とした

2. おもてなしの原風景

日本遺産

—道三・信長の城・町・川文化—

道三から城と町を受け継ぎ、**岐阜**と名付けた織田信長は、山麓を改造して**迎賓館**を造るとともに、山上にも人を招きました。彼は城と城下町、長良川が一体となった



織田信長像（崇福寺蔵）

景観を活かし、**自ら饗応を行った**のです。岐阜の城・町・川文化は、信長の時代に広く知られます。それは**岐阜市観光の原点**、おもてなしの原風景といえるでしょう。



信長料理復元模型（岐阜市歴史博物館蔵）
1574年、岐阜城で津田宗及をもてなした際の料理

3. 新時代の都市経営

—織田秀信と三つのまち—

最後の**岐阜城主**・織田秀信は、町に民政、治水、財政を担当する奉行を置くなど、祖父・信長に劣らぬ**都市経営の手腕**を見せました。秀信は関ヶ原の戦いの前哨戦で敗北、高野山に追われて歴史の舞台から去りましたが、彼が目指したまちづくりは**岐阜・加納・黒野**の三つの町に受け継がれ、今日の岐阜市を形作っていきました。



織田秀信像（円徳寺蔵）



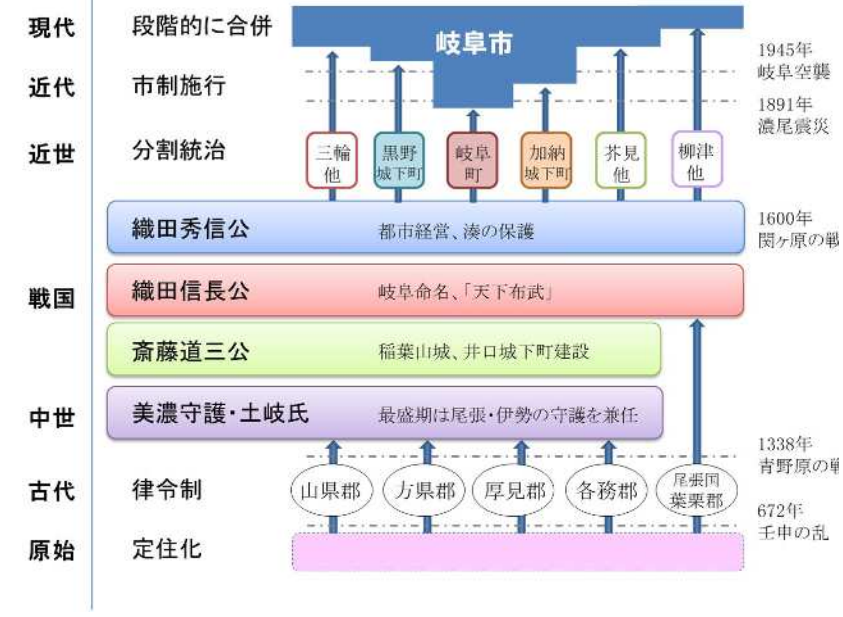
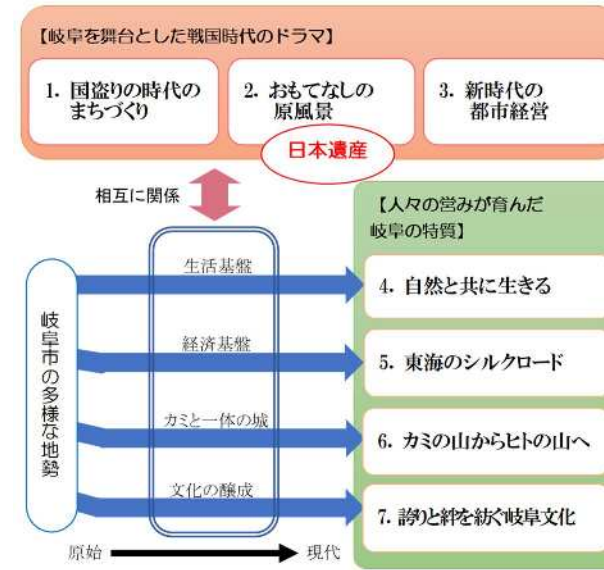
国史跡 加納城跡
1601年、徳川家康の命で築城された平城

岐阜市の歴史

古代、複数の郡に分かれていた市域は、中世～戦国時代には守護や戦国大名による統治が行われます。江戸時代、再び複数の領主が入り混じりましたが、明治時代以降、岐阜町を中心に段階的に合併が行われ、現在の「岐阜市」となりました。

ぎふ歴史遺産

日本遺産『信長公のおもてなし』が息づく戦国城下町・岐阜』を再構成、岐阜市の歴史文化の特徴を物語る7つのストーリーと、それを構成する文化財群にまとめたものが「ぎふ歴史遺産」です。



ぎふ歴史遺産【人々の営みが育んだ岐阜の特質】

4. 自然と共に生きる —長良川の恵みと食文化、水との戦い—

岐阜市は、**都市のすぐ近くに豊かな自然**があるまちです。鮎などの**川魚**や、「ぎふべじ」で知られる**お米**、**大根**など良質な食材が手に入る一方、たびたび長良川の**水害**に遭って来ました。人々は集落を守るため、堤防や輪中を造りこれに対抗します。現在の景観は、この自然との関わりの中で**生活を営んできた結果**なのです。



鮎料理（鮎雑炊、焼き鮎、鮎鰯等）
世界農業遺産 清流長良川の鮎を使った料理



三輪神社と山県用水
井組 14カ村が管理を行ってきた用水

5. 東海のシルクロード —陸運と水運、産業—

日本の中央に位置する岐阜市は、古くから**交通の要衝**です。奈良時代には**東山道**、江戸時代には**中山道**や**河渡宿**、**加納宿**が整備され、街道や河川の交通網を通じて、美濃特産の**絹**等が都へ運ばれました。また上流からもたらされた**和紙**や**竹**の文化は、**岐阜提灯**や**岐阜団扇**、**岐阜和傘**、そして**岐阜大仏**を生み出したのです。



中山道河渡宿
河渡の渡しと一体で作られた宿場町



岐阜県重要文化財 正法寺岐阜大仏
木や竹、和紙からなる大仏で日本三大大仏とも称される

6. カミの山からヒトの山へ —稲葉山と信仰、神話—

岐阜市のシンボルである**稲葉山**（金華山）。その麓に 12代景行天皇の兄、五十瓊敷入彦命を祀ったことが**伊奈波神社**の始まりです。戦国時代、斎藤道三は神社を移設、カミの山を**本格的な山城**にしました。現在は、山登りを楽しむヒトの山となりましたが、今も例祭が行われるなど、信仰の灯火は継承されています。



国史跡 琴塚古墳
景行天皇の妃、五十琴姫命の墓と伝えられる



伊奈波神社
斎藤道三が現在の位置に移したとされる

7. 誇りと絆を紡ぐ古都岐阜の文化 —祭りと落語、遊宴文化—

戦国城下町では、訪問者をもてなす**鶴飼観覧**や**舟遊び**等、岐阜ならではの文化が形作られました。落語の祖・**安楽庵策伝**もこの時代に活躍した岐阜の僧です。江戸時代、鶴飼は一般人も楽しむようになり、村は領主が違って協力して一つの祭りを行います。この**多彩な文化**を通じ、人々は地域の**誇りと絆**を育んでいきました。



船上の遊宴文化
長良川の舟遊びの文化が継承されている



岐阜県重要無形民俗文化財 手力の火祭り
13カ村による手力雄神社の例祭